

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	山川 暁【論文博士】	<p>本論文は、わが国に伝来する中世期から近世にかけての染織品について、編年研究上の基準作を比定し効果的に分析するための方法論について検討するとともに、関連文字資料や絵画資料が存在するなど、細部にわたる基礎データを紹介しながら、個別の事例研究を三章にわたって展開する。すなわち、染織史研究において最も重要な基準作を比定し効果的に分析するための方法論に則りながら、作品の基礎データの公開が進んでいない中近世染織品の年代決定法について、実証的な作品分析と作品に関連する一次資料の解析などにより、総合的に年代決定を行う方法論を示した。</p> <p>審査では、当初から極めて完成度の高い論文として評価されたが、筆者が用いる「基準作」という概念について、字義通りの方法論を正確に説明することが求められたほか、一次資料の解釈について、さらに正確さを求められた。このほか論文全体の目次が不備であるほか参考文献一覧の表記法の不統一についても指摘があった。</p> <p>山川はこうした指摘に対してそれぞれ十分な修正を加え、わが国の染織品研究について実証的な方法論を提示してくれることになった。</p> <p>審査委員会は、こうした修正を妥当なものとして評価するとともに、山川の今後の研究活動を期待する意見が述べられた。</p> <p>公开发表では論文内容に沿って明快な説明がなされ、引き続き行われた質疑においても満足すべき応答であったと認められた。引き続き行われた最終試験では、論文に即して内容を詳述させたほか、本論文が今後どのような研究領域として発展出来るかを審査した。</p> <p>この結果、本審査委員会は本論文が本研究科の博士（人文科学）Ph.D. in Art History の学位に相応しいものであると判定した。</p>
論文題目	中近世染織品の基礎的研究	
審査委員	(主査) 教授 秋山光文	
	教授 徳井淑子	
	教授 高島元洋	
	教授 安田次郎	
	教授 天野知香	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可・<input checked="" type="radio"/>否）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="font-size: 2em;">（</p> <p>本論文で取り扱われる染織品について、所蔵者および図版の著作権を有する組織から、掲載許可を取ることが極めて困難であり、しかも図版なしには本文が理解できない。</p> <p style="font-size: 2em;">）</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	